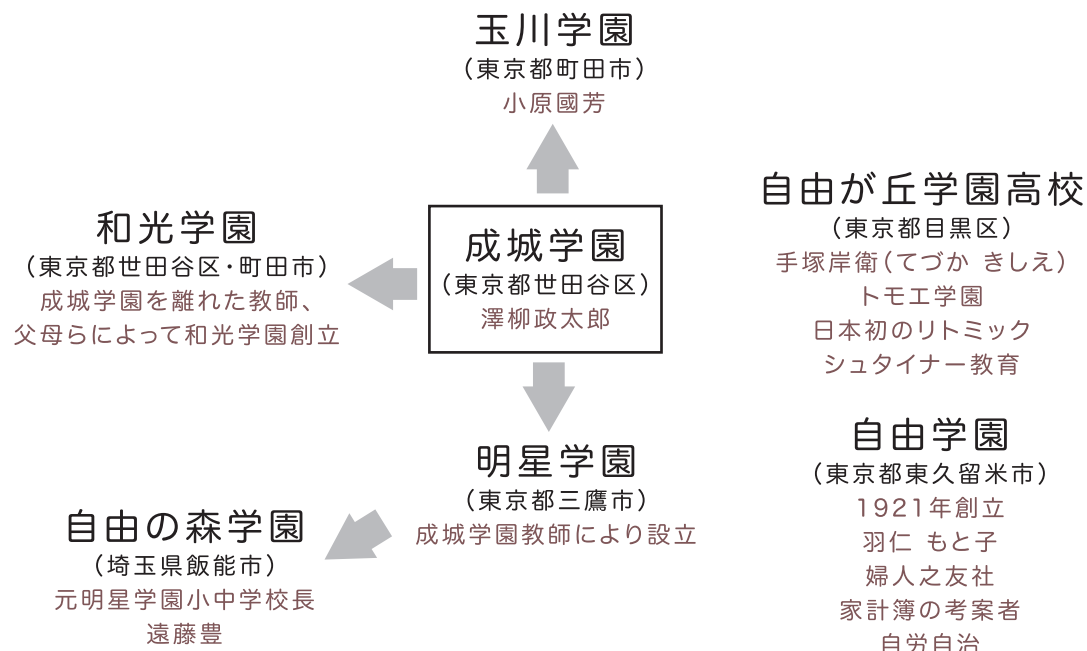


 サドベリースクール（デモクラティックスクール）  サマーヒル・スクール

 大正自由教育 （自主保育・ホームスクール）

【大正自由教育運動での日本における教育改造】

- 1762年：ルソー「エミール」出版（1712年フランス生まれ）
- 1837年：フレーベル「世界初の幼稚園」開設（1782年ドイツ生まれ）
- 1907年：モンテッソーリ教育確立（1870年イタリア生まれ）
- 1919年：シュタイナー「自由ヴァルドルフ学校」開設（1861年ドイツ生まれ）
- 1917年：新教育の実験校で澤柳政太郎が成城小学校設立（1865年生まれ）
- 1920年：大正自由教育運動
- 1946年：レッジョ・エミリア・アプローチ
- 1948年：倉橋惣三がフレーベル主義に影響を受け、幼児教育の発展に尽力（1882年静岡生まれ）



ルソー

ルソーは「子どもの発見者」、「近代教育思想の始祖」と言われている。ルソーは、子どもは大人の小型ではなく、人格をもつ個人であるとして子どもの権利を主張した。

大人を基準に子どもを見、子どもに欠けているところ（例えば知識）を早く補わせようとする教育に対して、子ども時代ない子どもという存在の独特の意義に注目したのがルソーであるならば、科学的根拠をもってこの理念を具体化した最初期の教育者がマリア・モンテッソーリ だと言えます。

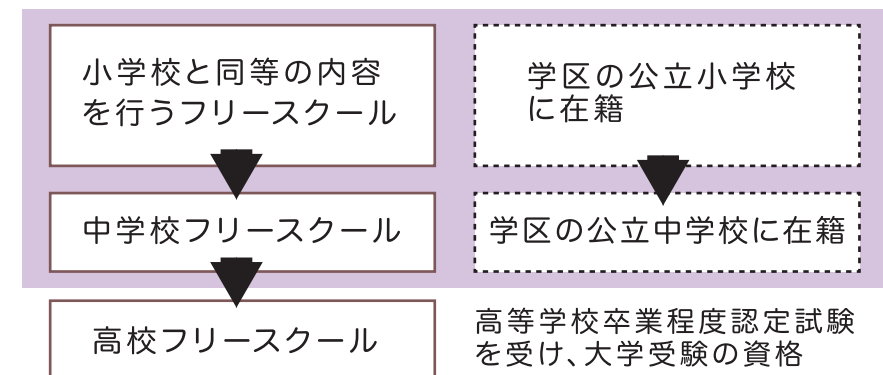
フレーベル

1837年、世界初の幼稚園として「一般ドイツ幼稚園」が開設されると共に、幼稚園の教員養成も積極的に行った。

幼児教育のための最初の学校の創設では、ロバート・オウエンに数年の遅れをとったが、幼稚園（Kindergarten）という言葉は、彼の造語で、その功績に感謝して、世界の多くの国々で幼児教育のための学校は、Kindergarten、Kindergarden と呼ばれている。日本語の「幼稚園」もそれを翻訳したもの。幼稚園では、お遊戯、お絵かき、生活体験などが重視され、園庭と花壇があるというのは、彼のコンセプトから生まれたものである。

【日本における教育の選択肢について】

・学校（学校法人）以外の選択
フリースクール（サドベリースクール・NPO学校）・ホームスクール等に通った場合



モンテッソーリの敏感期について

どの時期に自立や発達が完成していくのか、日常生活における知的成長の課程。

0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才
触る・舐める・歩く・座る	注意深く見る・聞く →	場所・順序へのこだわり	読む・聞く → 話す・書く	数を数える → 計算する	集団・集合に入る → 役割づける	
運動		秩序	言語	数	文化	
実体認識の課程		安定の課程	記号化の課程	論理化の課程	関係化の課程	
細部の敏感／感覚						
注意の課程／抽象化の課程 選択・比較						

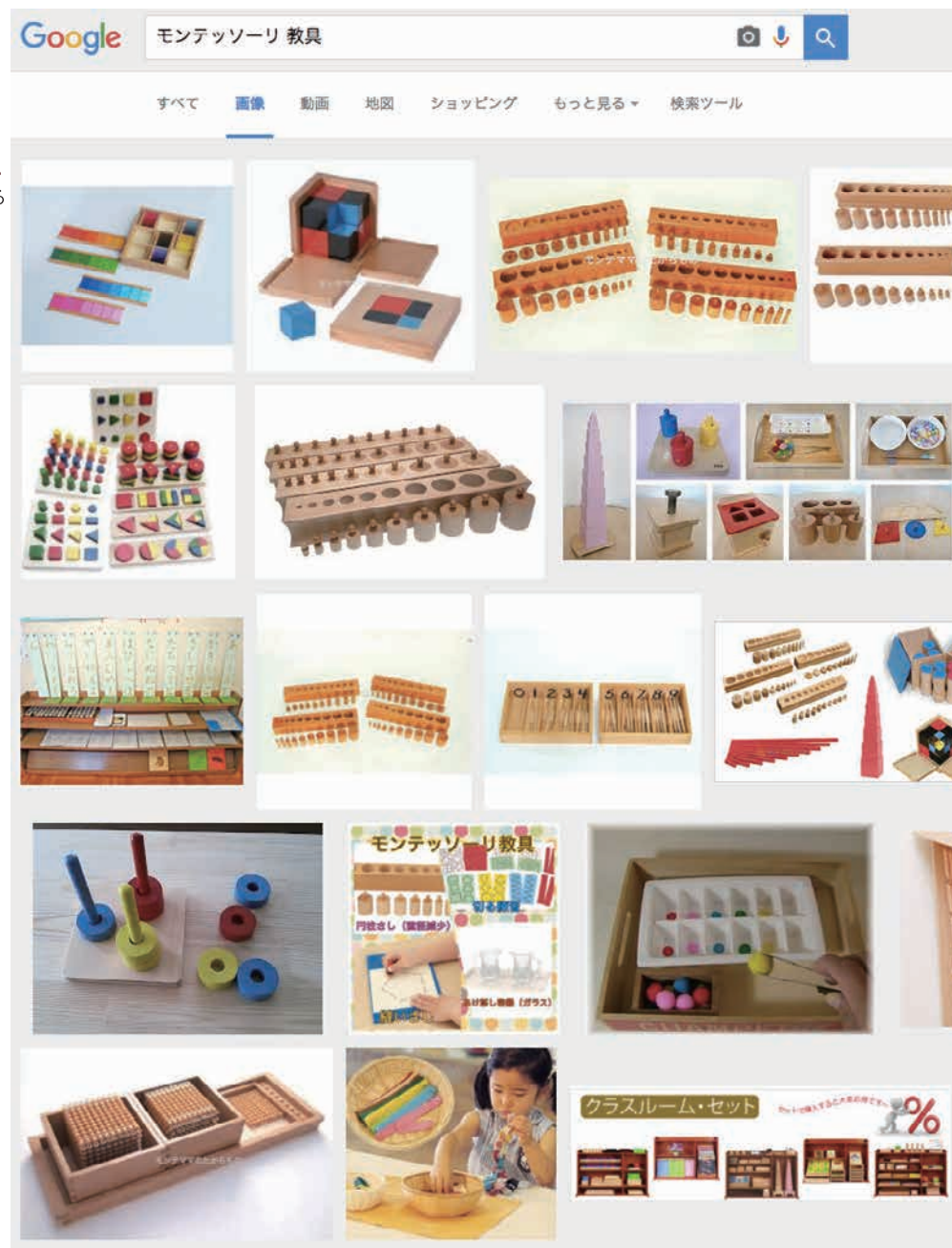
0歳から3歳までは「無意識的敏感期」

→見たものをあるがままに受け入れ、意識の中に定着させます。

モンテッソーリのおしごと＝日常生活の練習

【援助者（家族） ＝ 子どもの環境を整える】

- －子供が取扱いやすいサイズの教具を用意する
- －子供が自分で活動を選べるようにする（棚に見やすく、取りやすく置く。あらかじめ1つのお仕事に必要なものを、トレイなどにまとめておく。）
- －子供の仕事を尊重する。大人の一方的な都合で、子供の仕事を中断したり、妨げたりしないように心掛ける。



学校法人 シュタイナー学園

初等部・中部・高等部 12年一貫教育

学園について 教育内容 入学・転入 活動の紹介

HOME > シュタイナー学園の教育 > 学習内容 > 参考：ある卒業生の算数・数学のノートを通して

参考：ある卒業生の算数・数学のノートを通して

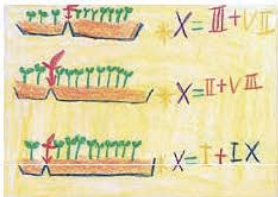
シュタイナー学園の学習の一例を、ある卒業生の1～9年生の算数・数学のノートを通してご紹介しましょう。

授業ではまず全体を示し、その中に存在するいろいろな部分に目を向けます。たとえば1年生では、足し算を教えるのに、「 $1+2=3$ 、 $3+4=7$ 」と、ひとつしかない答えを出すのではなく、「10はいくつといくつに分けられる？」と子どもに問いかけます。豆やくるみ、どんぐりなどを机の上に広げて、子どもたちはそれぞれ数え出します。「1こと9こ!」「3こと7こ!」6こと4こ、5こと5こ……答えはひとつではなく、そこにはいくつもの可能性があるのです。

1年生の算数

ローマ数字での足し算の導入のノート

「I、II、III、IV、V」と、子どもが自分の手指と同じに捉えることができ、理解しやすいローマ数字で、全体を部分に分ける可能性を見つけていく。



2年生の算数

位取りの学習のノート

位取りの仕組みを、2年生にわかりやすく導入するときに物語ったねずみの宿屋の絵。「町のすもう大会のために全国からねずみが集まります。……」



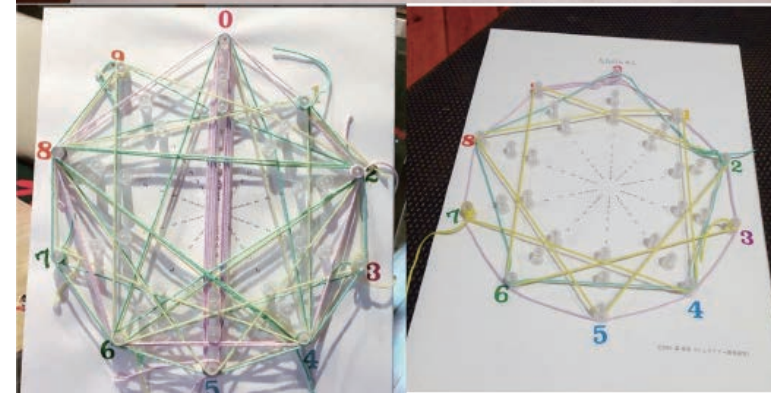
3年生の算数

数の並びのノート

魔方陣、ピタゴラスの三角数、四角数など、いろいろな数の遊びを導入。将来の数列の学習につながる。



シュタイナー教育は、ルドルフ・シュタイナーによって提唱された教育です。シュタイナーは、自らの意思によって行動できる『自由』な人間へと成長するためには、「からだ（意志）」「こころ（感情）」「あたま（思考）」の調和が大切だと考えました。そして、0～7歳は「からだ（意志）」が、7～14歳は「こころ（感情）」が、14～21歳は自立した「あたま（思考）」が育つ時期だと捉え、それぞれの時期にふさわしい教育方法を考案しました。成長の段階に合わせた学びによって、「知・情・意」をバランスよく育てる教育です。



【レッジョ・エミリア・アプローチ】

「レッジョ・エミリア・アプローチ」は、イタリアのレッジョ・エミリア市発祥の幼児教育実践法。個々の意思を大切にしながら、子どもの表現力やコミュニケーション能力、探究心、考える力などを養うのを目的としています。1991年に”世界で最も優れた10の学校”に選ばれた学校が実践していたことから、世界的に有名になりました。

- 自分の考えを主張する自主性が身に付く
- 友人の意見を聞き、話し合っていく協調性が身に付く
- 思い通りにならないことから、自分の気持ちを調整する力が育つ
- 自分たち自身で目的を見つけ出す探究力が育つ
- 共同活動の中で自分の役割を見出し理解できる



『冗談じゃない、百のものはここにある』 レッジョ・エミリア保育創設者の一人、ローリス・マラグッティの詩

子どもは
百のものでつくられている。
子どもは
百の言葉を
百の手を
百の想いを
百の考え方を
百の遊び方や話し方を
もっている。…(一部抜粋)

『驚くべき学びの世界』(佐藤学監修)より
(ローリス・マラグッティ)



【サマーヒル教育】

(Summerhill school) は、1921 年ドイツのドレスデン近郊のヘルナウで A・S・ニールにより創立された学校である。翌年、学校はイギリスに移された。現在では、イングランドのサフォーク州のレイストンに居を移し寄宿学校、及び全日制の学校として初等中等教育を民主的なスタイルで提供している。最も古いフリースクールと言われ、世界各地のフリースクールの設立の際、モデルとなった。現在の運営者は、ニールの娘、ゾーイ・レッドヘッドである。



サマーヒル・スクールは、「子どもたちは強制よりも自由を与えることで最もよく学ぶ」という哲学により、大きな影響を世界の進歩主義の教育に影響を与えた学校として知られている。すべての授業が選択で、生徒たちは自分たちの時間で何をするのも本人の自由に任されている。ニールは、「子どもの役目は彼自身の人生を生きることであり、心配性な親が、彼はこんなふうに生きるべきと考えた人生を生きることでもなければ、自分が一番よくものを知っていると思い込んでいる教育者の目的にかなった人生を生きることでもない」という信念のもとにこの学校を創設した。ここから、「世界で一番自由な学校」と呼ばれたり、反権威主義教育の代表とも言われたりする。

日本におけるサマーヒル教育について

「学校法人きのくに子どもの村学園」は、1992 年、和歌山県橋本市でスタートしました。戦後はじめて学校法人として認可された自由な学校です。現在は、きのくに子どもの村小中学校、かつやま子どもの村小中学校（福井県）、南アルプス子どもの村小中学校（山梨県）、北九州子どもの村小中学校（福岡県）、きのくに国際高等専修学校（和歌山県）があり、約 600 人の子どもたちが寮生活を送りながら学んでいます。

時限	時間	月	火	水	木	金		
	8:55~9:05	登校	ユースフルワーク					
1	9:10 ~		基礎学習	プロジェクト	基礎学習	123 年	456年	
2	10:40					国際基礎	基礎国際	基礎学習
	10:40~11:00		ティータイム					
3	11:00 ~	自由選択	プロジェクト	プロジェクト	プロジェクト	123 年	456年	
4	12:30					基礎	英語	
	12:30~13:30	おひるやすみ						
5	13:30 ~	プロジェクト	プロジェクト	プロジェクト	自由選択	プロジェクト		
6	15:00		基礎学習					6年 英語
7	15:00~15:45		全校ミーティング					



【批判的思考（クリティカル・シンキング）について】

クリティカル・シンキングとは、健全な批判精神を持った、客観的な思考。具体的には、論理思考と、思考の効率を上げるための方法論（テクニックやフレームワーク）、そして正しく思考するための姿勢（心構え）を組み合わせることにより、「物事を正しい方法で正しいレベルまで考える」ことを目的とする。
（MBAのグロービス経営大学院より）

【論理的思考（ロジカル・シンキング）について】

ロジカルシンキング（logical thinking）とは、一貫して筋が通っている考え方、あるいは説明の仕方のことである。

1. 「結論から言う〜なぜなら」の順番で話す：「〇〇は ×× です。なぜなら△△だからです。」
2. 理由は複数述べるようにする：「〇〇は ×× です。理由は3つあります。△△と、□□と、◎◎です。」
3. ちょっと書いてみる：頭の中をまとめる訓練
4. 理由を掘り下げてみる：「自分自身が“なぜ？”と聞きたいこと」
5. 理由を補強するデータを集める：客観的に「根拠がある」データ。逆にデータがない場合は「私（我々）の経験では」とつけることが鉄則

【認知能力と非認知能力】

今までの教育で重要視されてきた計算力、記憶力といった「正解」があらかじめわかっている課題に答えるいわゆる「認知能力」だけでは、受験会場にスマホを持ち込めば誰でも正解がわかってしまうような能力だけではこれからの変化の激しいグローバル化&AI社会を生き抜いていくことが難しくなるので、今年から0歳〜大学入試までに至る大規模な教育改革がスタートしました。

これは国際的な流れであり日本はすでに出遅れています。世界の主要国の新しい教育方針の中では**主体性、社会性、表現力、思考力、忍耐力**といったいわゆる「非認知能力」を育てることで「正解」がわかっていない我々が直面している様々な課題を解決できる人材の育成がより重要視されています。

（mamagaku 家庭教育創始者：和田智代）

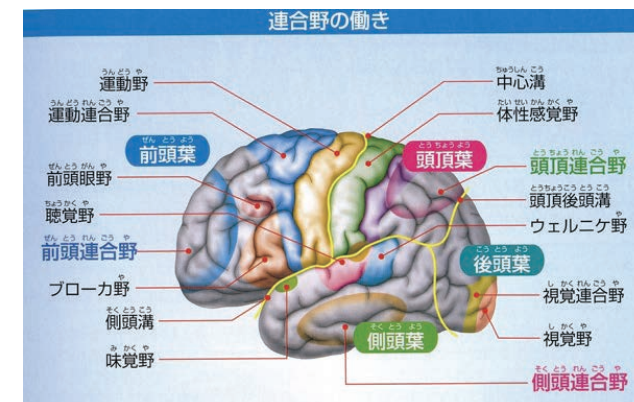
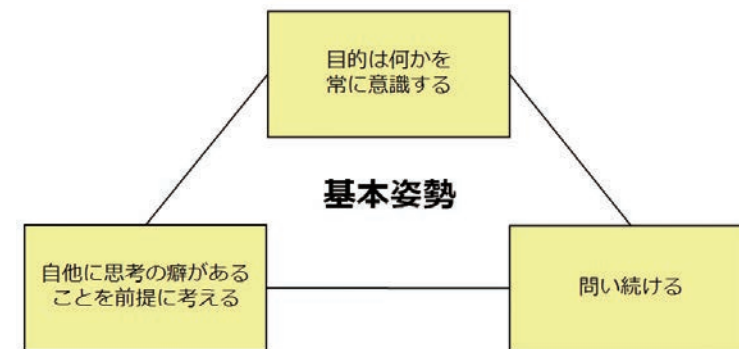
IQ や学力テストで計測されるチカラのことを認知能力、測れないチカラを非認知能力と言います。（中室牧子（なかむろまきこ）氏／慶應義塾大学 総合政策学部 准教授）

【EQ（心の知能指数）】

心の知能指数＝EQ は、心の知能を測定する指標であり、心の知能とは、自己や他者の感情を知覚し、また自分の感情をコントロールする知能を指します。（Wikipedia より引用）

【HQ（人間らしさの知能）】

HQ は、前頭連合野の持つ人間らしさの知能のこと。あらゆる知能を束ねる統括的な知能と、社会的知能、感情的な知能を併せ持つ前頭連合野は、社会生活を営む上で、とても重要な役割を担っています。その能力を伸ばすことを念頭にいた上で、脳の発達段階に応じた幼児教育も、すでに始められています。



【バカロレア・SGH・SSH・ESD ユネスコスクール】

国際バカロレア資格＝国際大学入試資格（IB） 国内 20 校 玉川学園中学部・高等部／東京学芸大学附属国際中等教育学校／東京都立国際高等学校

国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。

1968 年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施。（文部科学省サイトより引用）

SGH（スーパーグローバルハイスクール指定校） 国内 123 校 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校／創価高等学校／東京学芸大学附属

国際中等教育学校／東京工業大学附属科学技術高等学校／青山学院高等部／富士見丘中学高等学校／渋谷教育学園渋谷高等学校／早稲田大学高等学院

佼成学園女子中学高等学校／順天高等学校／品川女子学院／昭和女子大学附属昭和高等学校／国際基督教大学高等学校／玉川学園高等部・中学部

お茶の水女子大学附属高等学校／筑波大学附属高等学校

SSH（スーパーサイエンス指定校） 国内 250 校

ESD（ユネスコスクール） 国内 1034 校 国連の中にある教育・科学・文化の発展と推進を目的とした専門機関

葛飾区立青戸小学校／江東区立東雲小学校／江東区立八名川小学校／新宿区立西戸山小学校／東京学芸大学附属大泉小学校 目黒区立五本木小学校

小笠原村立小笠原小学校／小笠原村立母島小学校／多摩市立永山小学校／多摩市立西落合小学校／多摩市立貝取小学校／多摩市立豊ヶ丘小学校／多摩市立北諏訪

小学校／多摩市立南鶴牧小学校／多摩市立東寺方小学校／多摩市立多摩第二小学校／多摩市立多摩第三小学校／多摩市立連光寺小学校／多摩市立大松台小学校／

調布市立布田小学校／聖心女子学院初等科／多摩市立多摩第一小学校／多摩市立聖ヶ丘小学校／多摩市立瓜生小学校／稲城市立稲城第二小学校／荒川区立尾久宮

前小学校／清瀬市立清明小学校／世田谷区立中里小学校／稲城市立向陽台小学校／稲城市立稲城第六小学校／稲城市立稲城第三小学校／多摩市立諏訪小学校／

多摩市立愛和小学校／多摩市立東落合小学校／大田区立赤松小学校／稲城市立稲城第七小学校／稲城市立稲城第四小学校／稲城市立長峰小学校／稲城市立若葉台

小学校 稲城市立平尾小学校／杉並区立西田小学校／稲城市立稲城第一小学校／稲城市立城山小学校

東京賢治シュタイナー学校／もみの木保育園太子堂／もみの木保育園若葉台／もみの木保育園長峰

【ESD（持続可能な開発のための教育）】

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESD は持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

環境、平和や人権等の ESD の対象となる様々な課題への取組をベースにしつつ、環境、経済、社会、文化の各側面から学際的かつ総合的に取り組むことが重要です。

（文部科学省＞国際的教育＞日本ユネスコ国内委員会）



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of



UNESCO
Associated
Schools